

1995年 11月15日号
(平成7年)

No.688

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号

平成7年第6回
市議会定例会の日程

第6回定例会は、11月24日(金)に招集され、12月22日(金)までの日程で開催します。

本会議・各委員会の予定は次のとおりです。傍聴を希望される場合は、日程が変更になることがありますのでお確かめのうえ、ご来場ください。

- 11月24日(金) [本会議] 議案提案説明など
- 11月28日(火)～12月1日(金) [各常任委員会] 補足説明、質疑、討論、採決
- 12月5日(火)～7日(木) [決算特別委員会] 質疑、討論、採決
- 12月12日(火)～14日(木) [本会議] 一般質問等
- 12月22日(金) [本会議] 委員長報告、討論、採決

問い合わせ 市議会事務局 ☎38-2001

第6回富田碎花賞に
西岡寿美子さん
(高知県)

問い合わせ
美術博物館内
富田碎花賞事務局 ☎31-9066



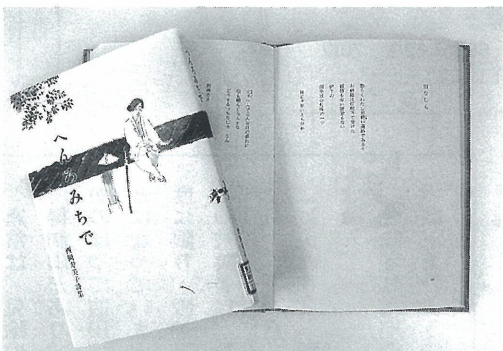
プロフィール

西岡寿美子(にしおか・すみこ)氏
1928年高知県生まれ。高知市在住。
詩集「杉の村の物語」、「おけさ恋うた」
「西岡寿美子詩集」ほか。ほかに「四国おんな
遍路記」「土佐の手技師」などの探訪記。
小熊秀雄賞・日本農文学賞受賞。

田碎花旧居で一年間展示していましたが、旧居が被災しましたので、復旧するまでの間、伊勢町の美術博物館(富田碎花賞事務局)で保管しています。

詩人富田碎花は、デモクラシーの思想をいち早く日本詩壇に伝え、民衆派詩人と目されました。また芦屋に長く住み、生涯にわたって幅広い文化活動を続け、「兵庫県文化の父」といわれています。
市は、平成二年に詩人・富田碎花生誕百年を記念し、「富田碎花賞」を創設しました。以来毎年の募集に際しては、全国の多くのかたがたか

ら多数の詩集の応募があり、この賞にふさわしい作品を決定することができました。
本年も、北海道から沖縄まで、百二十七点の詩集の応募があり、選考の結果、受賞作に高知県高知市の西岡寿美子さんの詩集「へんろみちで」(二人発行所刊)が選ばれました。



本詩集は、二章二十一篇の詩と散文からなり、千四百キロに及ぶ四国遍路を歩き続けた著者が、日常から隔絶した精神風土やさまざまな出会った人びととの交流のメッセージを、統一された言語表現で構成したものです。
選考では、「遍路体験による深い人生観照が富田碎花賞にふさわしくすぐれた作品」と評価されました。
選考委員は、次のかたがたです。

川崎洋氏(詩人、脚本家・一九八七年高見順賞、一九七〇年度芸術選奨受賞者)、

上林猷夫氏(詩人・元日本現代詩人会会長)、小林武雄氏(詩人・兵庫県文化協会理事)、杉山平一氏(詩人、映画評論家・帝塚山学院短大名誉教授)、安水稔和氏(詩人・井植文化賞、神戸市文化賞受賞者)(順不同・敬称略)。

応募詩集は、前回まで宮川町の富田碎花旧居で一年間展示していましたが、旧居が被災しましたので、復旧するまでの間、伊勢町の美術博物館(富田碎花賞事務局)で保管しています。

温い飯を
(後半部)

見えている道を表道と言うならもう一筋世を降りた人の辿った裏道があると言う
伝えられるそこは
人交わりならぬ病重い人たちが杖を突き手探りし膝でにじり歩いて成った地の凹みと聞く

山手の古道を踏んでいれば表道と裏道も

いつか蹠下で岐れ重なりしているのであろう花ばかりの人生など誰にあらうここを濡らした千年の涎や膿や涙に心が惹かれる

とてもことにわたしには抽象の世界の仏は見えないならば

人間の究極の仏心信じて漂泊うたかつての驛へ

あの涎や膿や涙のしみた地の凹みへ行こうわたしもまた同じ地上のさすらい人

背の鈴を鳴らし鳴らし

人の世の滴りの辛さや苦さに混じる

仄かな甘みをわが舌が感じ取る日まで

義援金8億7,887万2,215円
ありがとうございました

1月17日未明の大震災に際して、全国の皆さまから多額の義援金をいただきました。

10月末日現在で、総額8億7,887万2,215円(1490件)に達しました。ありがとうございました。

芦屋市では、この義援金全額を「兵庫県南部地震災害義援金募集委員会」(兵庫県・大阪府・神戸市・兵庫県市長会・日本赤十字社兵庫県支部・兵庫県共同募金会等15機関で構成、会長は兵庫県福祉部長)に送金させていただきました。

被災市や、兵庫県等に寄せられた義援金は、全てこの委員会に集約されまして、被災されたかたがたに、第一次義援金10万円(全・半壊)、第二次義援金として、要援護家庭奨励金・被災児童・生徒教育(保育)助成金・住宅助成義援金が、10月末までに総額約26億円配分されています。

義援金を寄せていただきました全国の皆さまに心から厚くお礼を申し上げます。

めざそう21世紀の健康づくり12月1日(金)
第15回あしや健康福祉フェア
2日(土)

今年は「復興の第一歩は健康づくりから」というテーマで講演会や健康と福祉に関する多彩な催しを行います。お気軽にご参加ください。

会場:保健センター 午前10時～午後4時

●食生活フロア

○6つの基礎食品、骨粗鬆症予防に関する展示と試食コーナー、備蓄食品の展示

●健康づくりフロア

○骨粗鬆症予防コーナー(栄養指導、健康相談等)ただし、健康相談は1日午後2時～4時、

2日午前10時～正午、午後2時～4時のみ
○結核・心のケア・栄養に関するパネル展示
○ストレスチェック、看護への道ほかパネル展示

●福祉フロア

○福祉相談、福祉給食の展示、資産活用・住宅改造相談(ただし、1日午前10時～正午、午後1時～3時のみ)

●すこやか講演

日時 12月2日(土)午後1時30分～3時30分
会場 芦屋市医師会館2階
演題 「震災後のこころのケアのために」
講師 野津医院院長 野津 浩氏

問い合わせ 保健センター ☎31-1586

E・D・U・C・A・T・I・O・N 教の育 ページ

このページの問い合わせは
学校教育課(☎38-2087)へ

元気な姿があふれる学校園



市立芦屋高等学校運動会

震災から十カ月。校舎や運動場の修復工事等、今までとちがった学習環境のもと、それぞれの学校園では、創意工夫をこらした教育活動が展開されています。
子どもたちは、共に協力することを学んだり、新しいものを創造したりするなど、今までに勝るとも劣らない素晴らしい力を発揮し、学校生活を送っています。

力いっぱい 運動会

九月十七日(日)の山手中学校を皮切りに、市内の学校園の運動会が順次開催されました。

あいにく、

雨にたたられたことが多かったですが、子どもたちは、雨に濡れながらも日ごろの練習の成果をみごとに発表しました。

「仮設住宅のかたがたに、ずいぶん迷惑をかけました

が、協力をお願いしてマーチングの練習をしました」と話す山手中学校のブラスバンド部の顧問。
当日は、整然とそろった演技が披露されました。

市立芦屋高等学校では、学年対抗綱引きが行われ、高校生の力強いかけ声がグラウンドに響きわたりました。

また、山手小学校等では、震災から立ち上がる芦屋のまちの様子を表現する組体操に涙ぐむ保護者の姿も見られました。



山手小学校運動会

秋の実りを味わう 園外保育

各幼稚園では運動会の後、秋を見つけない園外へ出かけたり、いも掘りをして収穫を祝ったりしました。

山手幼稚園では、園庭で育てたサツマイモで、イモ汁を作って保護者と一緒にお祝いしました。園児たちは、家の人の手を借りて、上手にお碗へ入れ、ふうふうしながら口々に「おいしい!」「あまいなあ!」



山手幼稚園園外保育

「ぼくらが作ったおイモ」と嬉しそうでした。なかには、三杯もおかわりする園児も見られました。

「サツマイモは、土のう用の袋を植木鉢代わりに育てました。思ったよりたくさんとれたので、子どもたちも大喜びでした」と園長の温かい笑顔がこぼれました。

自ら学ぶ力を育てる 授業研究

社会の変化に対応し、興味・関心・意欲を持って、自主的に学ぶことができる子どもの育成を目指し、各学校園では授業研究を重ねています。

十月二十六日(木)には、三条小学校において第十六回目の授業研究発表会が行われました。一人ひとりの子どもが自分なりの考えを持ち、問題に対して、自分の力で解決して

どの学校園も保護者の応援と協力を得て、実りある初秋の一日を飾りました。
また三中学校では、合唱コンクールや文化発表会が行われ、秋空に美しいハーモニイが響きわたたり、生徒の心を一つにした活動が繰り広げられました。

いこうとしていました。「わかった」「なるほど」「できた!」という達成感や満足感があふれる教室には、東京都から福岡県まで各地から多くの参観者がありました。
また、「震災を乗り越える学力」というテーマでシンポジウムが持たれました。二十一世紀を展望した人づくりを目指して、社会のさまざまな変化に対して前向きに生きていくことができる力を養うことについて熱心な討議がなされました。



三条小学校授業研究発表会

長編アニメ 「カッタ君物語」

人間に育てられ、すっかり自分を人間と思い込んでしまったペリカンのカッタ君。みんなのアイドル「カッタ君」がまきおこす愛と笑い、夢と冒険の物語!

日時 11月26日(日)午後2時~
会場 宮川小学校 体育館
入場料 無料



阪神・淡路大震災復興支援として、山口県宇部市と神戸新聞社が主催し、兵庫県映画センターの協力を得て実施されます。

問い合わせ 教育委員会総務課 ☎38-2085

子育てセンター クリスマス会

あわてんぼうのサンタクロースが
みんなに会いに来てよ!

日時 12月9日(土)
午前10時~11時30分
会場 市民センター別館 音楽室
対象 0~6歳までの子どもと保護者
費用 無料
予約制 各ひろば・各グループ・子育てセンターにて受け付けます



問い合わせ 子育てセンター ☎31-8006